

経研論集 32号 執筆マニュアル

1 投稿について

投稿申込、原稿は期日までに大学院事務室に提出すること。

- ①投稿申込締切は2019年9月30日(月)とし、指導教員の承認を必要とする。
- ②原稿締切は2019年10月31日(木)とする。
- ③執筆資格は本大学院経済学研究科及び経営学研究科在学生および修了生とする。
- ④原稿の提出には指導教員(修了生については、在学当時の指導教員または専攻主任)からの推薦書(本学指定用紙)の添付を必要とする。

2 提出物仕様

- ①原稿は原則として、B5・横書、1ページ・40文字/35行とし、パソコンまたはワープロにて作成すること。
- ②余白の設定は上30mm×左20mm×右20mm×下25mmとし、ヘッダーを20mm、フッターを15mmとする。
- ③提出原稿は、完全原稿〔図表・註を含む〕および完全データ(USBメモリ、CD-R等)とする。原稿は完全データを直接変換することにより、刊行までの諸工程を最短かつ最小の費用で済ませることが可能となる。したがって、提出原稿は完成原稿とし、校正時には変換上の誤りや不備、および最小限の訂正にとどめるよう心がけてください。
- ④原稿枚数は1ページ、40文字/35行で換算し25ページ程度(35,000字程度)とする。
- ⑤原稿には、本文、註、図表、文献リスト等すべて含まれるものとする。なお、註や文献等はポイントを落として印刷するため、本文字数の4/3倍で換算すること。
- ⑥図表は写真製版するので、記載されている文字が縮小により、見にくくなるので、予め、縮小率を考慮の上作成すること。通常、本文の約1.6倍が目安となる。
- ⑦原稿提出時に、図や表の個数を1ページ目の右下に鉛筆で記入すること。

3 原稿作成および校正上の諸注意

①文字

欧文についてはアルファベットとギリシャ文字の違いを明確にする。

添え字については、上ツキ、下ツキの指示を明確にする。

- ②用語、用字(漢字かカナか、送り仮名を付けるか否か、大文字か小文字か等)について原稿提出時に統一し、校正時に残すことがないようにすること。

③図

図表は写真製版を行うので、鮮明な原稿を用意すること。コピーは不可。また、編集時に拡大・縮小を行う場合があるので、図表中の文字の大きさには注意すること。通常、約1.6倍程度。

④註

(1)各章ごとではなく、一括して本文の後に付け、頁付けは本文頁に続ける。

(2)番号は、各人の通し番号とし、1、2…とする。本文の註位置は句読点の内側、閉じ括弧()の外側とする。

⑤引用および参考文献

(1)書物名、雑誌名は、日本語・中国語については『』、欧文についてはイタリックとする。

(2)論文名は、日本語・中国語については「」、欧文については“ ”で囲むこと。

(3)文献の表記については次の順序とする。

単行本：著者(编者)名、書名(副題とも)、発行地、発行所、発行年、(引用の場合、頁)

論文：著者名、論文名、雑誌(または収録書)名、巻数、号数、発行年月日(ただし、雑誌等で〇年〇月号と表示するものは不要)

経研論集 32号 執筆マニュアル

4 タイトル、回次、目次

①論文以外の原稿はタイトルの上部に表示する。

研究ノート：左肩

紹介：中央

②氏名はタイトルの真下に記載すること。

5 頁付け

タイトルを記入してある頁から始め、グラフや表のみの頁についても通し頁付けをすること。また、参考文献・註の頁についても、通しで頁付けをする。

6 「大東文化大学機関リポジトリ」への登録について

本論集に掲載の原稿は、原則として「大東文化大学機関リポジトリ」に登録され、インターネットを通じて無償公開されるものとする。これを望まない者は執筆申請の際に所属研究科の許可を得ること。

経研論集 32号 執筆マニュアル

経研論集原稿執筆マニュアル【ページ設定】

